

# 地域で進めるふれあい学習

安足地区人権教育指導者一般研修

さわやか人権フォーラム

大切にしよう  
わたしたちの人権感覚

6月8日(火) 葛生町総合福祉文化施設「あくとプラザ」大ホールにおいて、364名の参加者を得て、標記研修会を実施しました。

- 1 人権作文発表 「障害のある人について」 葛生町立葛生中学校3年黒川知世さん
- 2 講演「だれもが宝石～見えない心を見る目～」 陶芸家・文芸芸術大学教授 林香君氏
  - 不登校児童を預かった経験、大学での障害児を招待しての陶芸教室、小学校に出向いての人権・総合学習など、子どもたちと交流した具体的経験をもとに、人権の視点で行動することとは何か、人権の視点で日常生活を見直すポイントとは何かを示唆していただきました。
- 3 フィルムフォーラム
  - (1)人権感覚を磨き高めるために活用したい人権啓発映画 (管内各市町視聴覚ライブラリー所有ビデオ紹介)
    - 佐野市:「菜の花」 <人々の中に誤った認識として残された差別のもつ非人間性>
    - 葛生町:「5等になりたい」 <人間にとって一番悲しいことは、身体のハンディよりも心にハンディをもつこと>
    - 田沼町:「Meet the ヒューマンライツ」 <日常的に自覚していなかった言動に潜む偏見や差別>
    - 足利市:「ワシントンポスト・マーチ」 <どんな人々でも共に暮らせる社会こそノーマルであること>
  - (2)県教育委員会所有ビデオ紹介・視聴 「風と大地と梨の木と第4章(最終章) WE ARE ONE」

この研修を通して、「人権の共存」の基盤として、<わたし(自己尊重)><あなた(他者尊重)><わたしたち(共存)>というプロセスと、日常生活における人と人のかかわりの中で、具体的に「人権」について考え、実践的に人権感覚を磨いていくことが大切であることを学びました。

参加された地域指導者の方々を核として、人権尊重の輪の広がりが期待できる研修となりました。



## PTA 指導者研修

本の時間をつくるために私たち大人にできること

7月6日(火)足利市民会館小ホールにて、標記研修が実施されました。佐野市・葛生町・田沼町・足利市の小・中・高のPTA 会員133人が集まり、子どもの読書活動の推進にPTA 活動はどのようなかわり方があるのか話し合い、具体的なアクションプランをまとめました。

講師：栃木子どもの本連絡会 小林静子様 小金澤頼子様 前原雪江様 小林貴代様

**提案します! 「12のアクションプラン」**

### 子どもと共に楽しむ読書

読み聞かせの講演会を開催しよう!  
とにかく親子でたくさん本を読もう!  
学校で読み聞かせを実施しよう!

### 中・高校生の読書活動

YA(ヤング・アダルト)という分野があることを広めよう!  
話題作の本について家庭で話してみよう!  
専任の司書の重要性を確認しよう!



### 読書の習慣と読書の魅力

親が本を読む姿を子に見せよう!  
明るくて入りやすい図書室を作るボランティアを立ち上げよう!  
専任の司書の重要性を確認しよう!

### 学校における読書環境の充実

本の充実のための資金を集めよう!  
学校からの要望を聞きPTAとして協力できることをまとめよう!  
図書室を魅力あるものにしよう!

この12のアクションプランを学年部会や懇談会などで話題にいただくことで、PTA 活動が活性化され、さらに子どもの読書活動が推進されることを願っております。



# New Partnership

第10号 2004年8月1日 安足教育事務所ふれあい学習課  
TEL.0283-23-1471 FAX.0283-23-4274 mail:ansoku-kyouiku@pref.tochigi.jp

## 地域活動に感謝

安足教育事務所長 高橋 知俊



時代の変遷とともに社会は変わる。人はよりよい社会をめざして努力してきましたが、その中でもどうしても負の面も発生してしまうものです。

ある大学教授が「社会・地域・親が変わって、子どもも当然変わってきている。特に、食べっぷりが変わった。遊びっぷりが悪くなった。付き合いっぷりが悪くなった。」と述べています。うなずいてしまう指摘です。

街から子どもたちが消えて久しい。車社会になり、外は危険であること。住宅事情の向上から子ども部屋があり、室内での楽しみがふえたこと。小さいうちから塾に行くこと。など理由は様々考えられます。

自分の部屋で、多くの子どもたちが電子メディア等と向き合っているように聞きます。インターネット、テレビゲーム、携帯電話も楽しいもの、便利なものであるが、電子メディア等に費やす時間が多いのが気がかりです。バーチャルな体験(仮想体験)が多くを占め、心配であります。

そのような現状の中、安足地区では、「子どもの健全育成のために」と数多くの地域の組織が活動しています。数十年の長きに渡り活動している組織から、最

近組織された新しいものまでさまざまあります。共通していることは「子どもたちの交流-ふれあいを通して子どもたちの健やかな成長をめざす」です。このたよりの前号で「人は交わりて学ぶ」という島崎藤村の教えを書きました。いつの世も人と人との交流が大事であることに異論を唱える人はいないわけです。

しかし、今は、人と人との交流がむずかしい時代になっています。「だから、今こそ交流を、ふれあいを」と子どもたちに近づき、子どもたちを核とした活動を展開する地域の大人の組織が多く存在しています。ありがたいことです。

安足教育事務所ふれあい学習課では、それらの地域の組織がさらに意義ある活動ができるよう、さまざまな組織の横のつながり(ネットワーク)を考え、お手伝いしているところです。

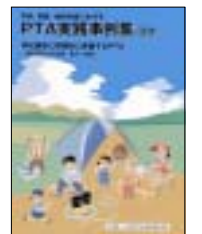
「人との交流は大事ですよ。ふれあいはいいですよ。」と子どもたちにことばでいっても、子どもの心の中に響きません。実体験を通して、子どもが「感得・体得・納得」しなければ、真の意味で、心の健全な状況はつくりだせないと思っています。そういう意味で、安足地区内の「子どもを核とした活動を展開している各種組織」の方々には衷心より感謝申し上げます。今後ともさらに意義ある活動をお願いする次第です。

## 心ふれあう地域づくりをめざして (7) 所長補佐兼ふれあい学習課長 清水 武治

ふれあい学習を推進するにあたり、学校の理解と協力が不可欠であると考え、学校訪問の機会を捉えては「ふれあい学習」のねらいとするところを説明させてもらっています。これまでにいくつかの学校を訪問し、授業も参観させていただきました。子ども一人一人の個性や能力を活かす授業づくりに努められている担任の姿を拝見し、いつも頼もしく感じています。さらには、教材を工夫し一人一人を授業に集中させようと努力している先生、一人一人の存在を認めマイナスのことばを耳にすることのなかった授業、子どもの作品一つ一つに丁寧なコメントが添えてある学級。等々いづれの学校においても見事に「ふれあい学習」のねらいとする実践がなされており、感謝しつつ校門を後にして来ます。

安足教育事務所では、ふれあい学習企画委員の協力を得て「子どものための地域づくり推進地域」を指定し、先導的な実践活動に取り組んでいただいております。推進地域では、コミュニティの組織をフルに活用し、学校との確かな連携を図り、地域をあげ主体的に心豊かな地域の子どもの育成活動を展開しています。今日の子どもを取り巻く現況を考え、また、推進地域での実践を踏まえ、さらには学校運営協議会制度の導入や学校評議員の活用、学校支援ボランティアとの協働など、地域コミュニティとともに進める学校づくりの視点は不可避となってきています。本年三月(社)日本PTA全国協議会が編集したPAT実践事例集のテーマが「学校運営に積極的に参画するPTA」~学校運営への支援、協力、参加~でした。

学校に、P(Parent)T(Teacher)C(Community)A(Association)が構築される日の足音が、すぐ近くにまで聞こえて来たと感じています。学校の課題解決には、学校・家庭・地域社会が互いに連携、協働していくことが何より大切な時代であり、「ふれあい学習」のめざすところがここにあると考えています。





# 「子どもを核にした地域づくり」を目指すふれあい学習の推進

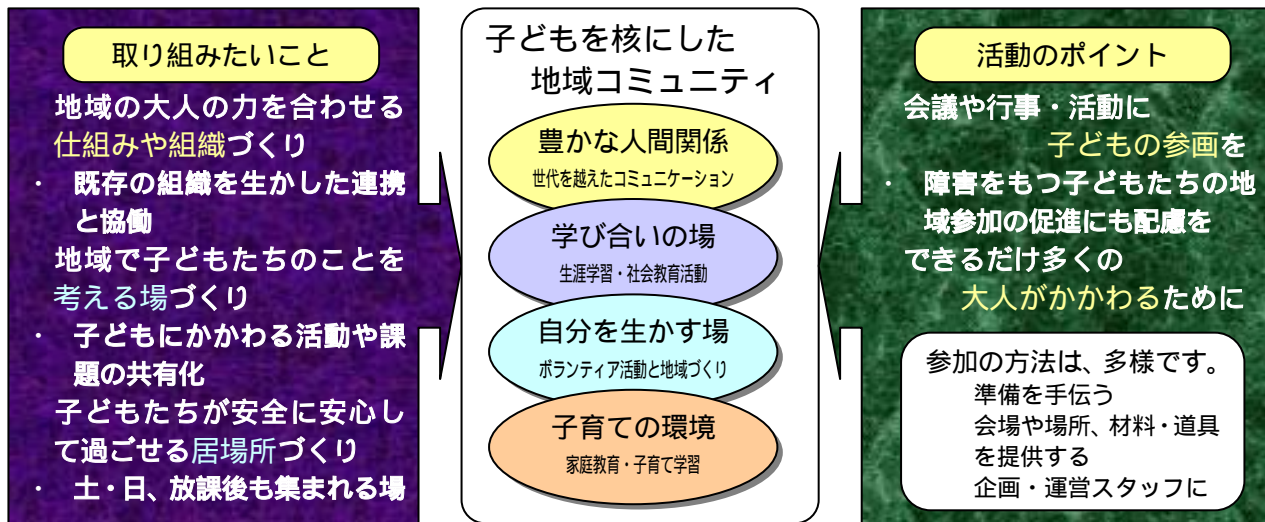
## 地域で子どもを育て、子どもを核にした地域づくりを進めるために

安足教育事務所では、学校・家庭・地域が一体となって次代を担う子どもたちを育てることを通し、家庭と地域の教育力の充実を図りながら、子どもたちの豊かな育ちのための環境・学びあいと豊かな人間関係に支えられた活力のある地域コミュニティづくりを目指し、ふれあい学習を推進しています。

6月14日に開催した第1回ふれあい学習企画委員会では、ふれあい学習の推進概要と取組の重点、各市町における推進等を協議しました。

ふれあい学習企画委員（敬称略） アンダーラインは、子どものための地域づくり推進地域代表

佐野市	秋山浩一、小野田正一、篠原一世、高瀬幸延	学校代表
葛生町	田澤テル子、廣瀬恵子、初山マサ子、大島敏男、青木 智	関谷秀明（犬伏東小） 富岡律子（船津川小）
田沼町	中村圭佑、渋江芳夫、大芦清次、大貫幹夫、高田美智子	車塚己喜雄（山前小） 関口伸一（足中養護）
足利市	小泉悦彦、太田康夫、大美賀一雄、寺内千明	唐沢青年の家：井澤一男



### ふれあい学習の実践による子どものための地域づくりを進める推進地域・団体

	平成 14 年度（継続）	平成 15 年度（継続）	平成 16 年度（新規）
佐野市	犬伏東地区	吾妻地区	旗川地区
葛生町	常盤地区	エクボの会	中地区
田沼町	戸奈良地区	北部地区	南部地区
足利市	矢場川地区	三和地区	富田地区

文部科学省 子どものための居場所づくり新プラン「地域子ども教室推進事業」実施地域

佐野市	犬伏東地区、旗川地区、犬伏地区、城北地区
足利市	山前地区、筑波地区



## ふれあい学習情報コーナー

### スタートしました！安足地区のふれあい学習

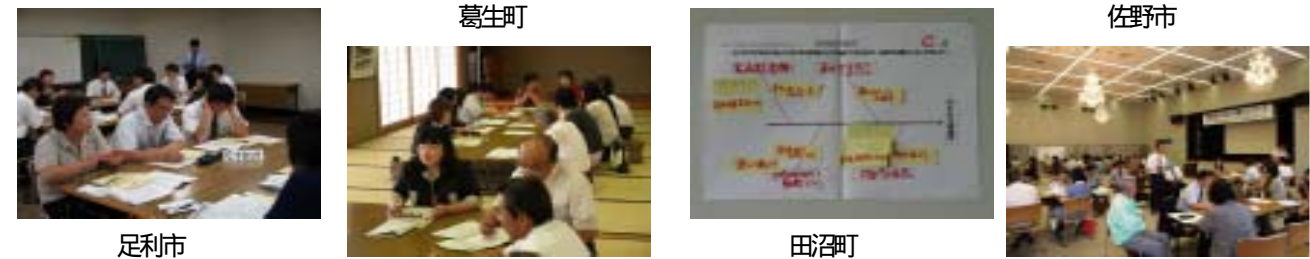
安足管内のふれあい学習推進を目的とした「安足地区ふれあい学習ネットワーク（第1回）」が、6月28日(月)足利市民プラザ小ホールにおいて、160名の参加をいただき開催されました。



- 全体研修 「安足地区のふれあい学習の実践と推進のポイント」  
 レクチャー 「管内のふれあい学習推進状況と推進のポイント」  
 安足教育事務所ふれあい学習課副主幹 小池 正勝
- 実践発表 「田沼町北部地区で進めるふれあい学習」  
 田沼町地域ぐるみ児童生徒指導推進連絡協議会長  
 （ふれあい学習企画委員） 中村 圭佑 様
- 「足利市三和地区で進めるふれあい学習」  
 足利市三和地区青少年育成会連絡協議会顧問  
 （ふれあい学習企画委員） 大美賀一雅様



- 分散会 「ふれあい学習で地域づくりを進めよう」  
 - 子どもたちが安全に安心して過ごせる地域づくりの具体的な活動を考えよう -  
 指導助言 安足地区ふれあい学習企画委員・安足教育事務所ふれあい学習課職員



ふれあい学習企画委員を中心として、各市町ごとの協議を行いました。情報交換の場の重要性が再確認されると共に、各地域で実施している行事をふれあい学習の視点から見直すことで、さらなる活性化につながるのではないかと声も聞かれました。

### 「ニュー・スポーツ」紹介コーナー

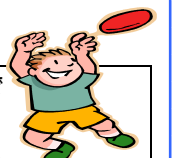
生涯スポーツ担当

突然ですがニュー・スポーツは、10年前より少しメジャーになったと思いませんか？ しかし！ 用具等を揃えようとスポーツ店で値段を見て、ビックリするほど高価だったなんてことはありませんか？

そこで、今回、かなり低価格で楽しく遊べちゃうニュー・スポーツを紹介します。

それは、ソフト・フライングディスクです。

- 1 最大の特徴は、素材がソフトだけに当たっても痛くないこと。力がなくても手首のスナップだけで簡単に飛ばせます。だから子どもから中高年という幅広い年齢層の方に安全に楽しんでいただけます。
- 2 慣れてきたら、右・左カーブもチャレンジしてみましょう。また、キャッチするときは片手で取れるようにしましょう。



ソフト・フライングディスクを使った様々な遊び方がありますが、今回はドッチビー（DODGEBEE）のルールを紹介します。

- ドッチボール形式のゲーム  
 ・コートは9m x 18mをセンターラインで2分割  
 1チーム13人~15人  
 1ゲーム15分  
 内野外野に分かれ、外野は3方向から投げられます。内野外野共に1名以上配置。外野は内野プレーヤーをアウトにすれば内野に入れます。プレー開始時に外野にいたプレーヤーも同様。ゲーム終了時に内野に多く残っているチームの勝ちです。  
 ディスクの価格は約1,500円くらいです。  
 （ゲーム中、2枚使用すると、さらに楽しくハイレベルなゲームが楽しめます。）